

あなたの「気づき」で安心して暮らせるまちへ

介護高齢課地域包括支援センター（☎75-8937）

ホームページ



「高齢者虐待」は、どこの家族でも起こり得る身近な問題です。問題の深刻化を防ぐためには、高齢者の周りにいる身近な人たちの『気づき』が大切です。

◆あなたの周りで、こんなことはありませんか？



Point

「早期発見、すぐに相談」が虐待防止の近道です！

- ・虐待をしている人や虐待を受けている高齢者が、「虐待をしている」「受けている」と認識していないケースがありますが、当事者の自覚の有無に関わらず、客観的に見て権利侵害が行われている場合には、「虐待」とみなされます。
- ・虐待行為を裏づける具体的な証拠がなくても、高齢者虐待とおぼしきサインを見つけた場合は、相談してください。

※相談（通報）や届け出を受けた市町村や地域包括支援センターの職員は「職務上知り得た通報者を特定する情報を漏らしてはならない」という守秘義務が課せられています

◆高齢者虐待に気づいた時は、下記問い合わせ先へ連絡してください

- ・介護高齢課地域包括支援センター（☎75-8937）
- ・荒川支所地域振興課（☎62-3104）
- ・神林支所地域振興課（☎66-6113）
- ・朝日支所地域振興課（☎72-6887）
- ・山北支所地域振興課（☎77-3113）

予防は今から。インフルエンザ予防接種を忘れずに

保健医療課健康支援室（☎75-8934）
保健医療課国保室（☎75-8931）

※高齢者
※子ども

高齢者



子ども



高齢者の予防接種

10月1日～翌年3月31日の間に高齢者が市内の医療機関でインフルエンザの予防接種を受ける場合は、1,650円で受けることができます。

◆対象者（次のいずれかに該当する人）

- ・65歳以上の人
- ・60歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器の機能に日常生活が極度に制限される程度の障がいがある人およびヒト免疫不全ウイルスにより日常生活を送ることが難しい程度の障がいがある人（これらの疾病で身体障害者手帳1級相当に該当する人）

◆費用（自己負担額）

- ・1,650円（生活保護受給者は無料です）

◆その他

- ・市外の医療機関でも、同額で接種できる場合がありますので、事前に医療機関に問い合わせてください。
- ・原発避難者特例法に該当する人で接種を希望する人は、事前に連絡してください。

子どもの予防接種

お子さんのインフルエンザ予防接種にかかる費用の一部を助成します。

◆対象者（次の項目全てに該当する人）

- ・接種日の時点で市国民健康保険に加入している人
- ・他のインフルエンザ予防接種に関する助成を受けていない人
- ・予防接種日の時点で生後6カ月～高校卒業（18歳に達する年度の3月末）までの人

◆助成額 2,000円以内

◆助成回数 1人1回

◆申請方法

保健医療課または各支所地域振興課へ下記の書類を持参して申請してください。

◆持参する書類など

- ・医療機関が発行するインフルエンザ予防接種済証（または母子手帳）と領収書
- ・国民健康保険に加入していることが分かるもの
- ・振込先の口座が分かるもの（通帳の写しなど）

◆申請期限 令和7年3月31日(月)

8月24日(土)

「帆船BLUE OCEAN みらいへ」寄港歓迎行事(岩船港)

大阪・関西万博のPRのため、大阪・関西万博スペシャルサポーター「帆船BLUE OCEAN みらいへ」が岩船港へ入港し歓迎式典が行われました。

式典では江戸時代に物流の中心となった北前船になぞらえて、前寄港地の神戸市から届けられた特産の日本酒が河本船長から市長に手渡されました。

続いて、村上市スペシャルアンバサダーの越川ゆう子さん、市と包括連携協定を結んでいる新潟プロレスの鈴木敬喜、サケ・マスカラスの両選手から、村上茶、鮭の酒びたしを大阪府高石市に向けて手渡しました。

式典後には、「帆船みらいへ」の一般公開が行われ、来場



▲目録を贈呈した演歌歌手の越川ゆう子さん（上）と新潟プロレスの鈴木敬喜、サケ・マスカラス選手（下）



©Expo 2025
大阪・関西万博
公式キャラクター
ミャクミャク

した1,139人が、船内見学を楽しみました。

6月21日に文化庁が認定する日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に追加認定され、市内でも日本海の荒波の中を進む北前船がデザインされたポスターや、村上駅前には、追加認定を祝うバナーが掲示されています。

9月14日には、認定を記念して講演会を開催。（一社）北前船交流拡大機構上席研究員の中野秀治氏を講師に迎え、「日本遺産・北前船ストーリーを活かした地域活性化」をテーマに講演を行い、他の自治体での取組事例などの紹介や、地域活性化に向けての進め方などについて説明がありました。会場には140人が集まり、今後の活動に向けてメモを取りながら、耳を傾けていました。



▲認定を記念して作成したポスター

企画戦略課企画政策室（☎75-8925）

生涯学習課文化行政推進室（☎53-7511）